

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	利用希望者やその家族の事情に寄り添う形での支援を心掛けています
	内容	当事業所の登録利用者が法人内に今年度新設されたグループホームへの入居や新たな利用希望者の募集などにおいては、基本にある利用者の希望に寄り添う支援の実践を継続して行っています。短期利用の施設として、利用者や家族のレスパイトや息抜きのための安全で安心できる場として求められる支援を行っています。要望や希望には柔軟に対応し、重度な介護が必要な方が利用する日には可能な限り2床ある居室を1床利用として利用者の支援を強化するといった配慮も行い、利用者や家族の希望に可能な限り対応する支援に努めています。
2	タイトル	管理者を中心として組織としての関与と共有を図るシステムと意識が形成されています
	内容	法人が設置しているグループホームの併設として配置されている事業所で現場でのコーディネート役を果たす主たる職員1名が常勤職員であり、その他は併設事業所との兼任の非常勤職員のため、スポット的な勤務を行う場合が多いという事情はありますが、その中でも支援全般について管理者、主たる職員、現場の職員といったラインを明確にし、様々な問題に対して、現場サイド間でのやり取りに終始するのではなく、必ず職員から主たる職員、管理者と経路を通して報告、対応を行うといった、組織としての関与と共有を図るシステムと意識が形成されています。
3	タイトル	利用者が快適に自分自身の時間を確保し、マイペースで過ごすことができる空間づくりに努めています
	内容	利用者がとまり樹はうすで安心して、自分のペースで過ごせる環境づくりに努めています。食事以外では、居室で過ごす方がほとんどのようで、利用者自身のお気に入り、DVDやCD、本やゲームなどの持ち込みは自由としています。利用者本人が自分でできることは自分でしてもらいますが、利用者の希望や状況に応じて、入浴時の洗髪や洗身などの衛生保持、洗濯など必要な支援は職員が行っています。利用者のペースを大切にしながら必要な支援を行うことで利用者本人はもとより家族からの満足度やリピート率が高くなっているものと思われます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	記録化が支援の証明になる点等を踏まえてさらなる職員意識の啓発をすすめることが期待されます
	内容	共通意識や共同行動が難しい環境である故、事業所利用の新規募集や利用の開始、コロナ禍といった事情も重なり、以前からの課題であった支援方針等の策定について進んでいないようです。策定に必要な利用時の支援状況や利用者の様子や行動を丁寧に記録することを目標とし、主たる職員をはじめとし、職員全体へ記録への意識について喚起していますが、まだまだ不十分とも認識されています。記録の蓄積が支援の発展に不可欠であり、支援実践の証明である点等を踏まえて記録への意識啓発を進められることが期待されます。
2	タイトル	利用者の安心・安全確保をより強固にするため、緊急時の対応をより明確にする仕組み作りが期待されます
	内容	とまり樹はうすでは、利用者が安全に安心して快適に時間を過ごしてもらうことを大切にしています。今年度より新規の利用者が増えたため、特に安全性の確保については力を入れて取り組んでいます。緊急時の対応については、事業所内に連絡体制が掲示されており、救急車の要請を指導しています。しかし、夜間などに急変があった場合は職員の不安もあるでしょうから、突発の場合の判断基準や連絡や対処方法、必要な準備等について、その手順や注意事項を明確にし、いざというときに落ち着いて対処ができる仕組み作りの構築が期待されます。
3	タイトル	利用者の自尊心や羞恥心を大切に守っているため、リピートの方への対応を見直すことが期待されます
	内容	事業所では、同性介助を徹底し、利用者の自尊心や羞恥心への配慮にきめ細かく取り組んでいます。今年度には多くの新規利用者が増えましたが、これまでの利用者は長年利用している方も多く、職員との信頼関係も深く築かれ良好な関係性となっているようです。しかし、こういったなじみの関係があるからこそ、職員も利用者に対して言葉遣いや対応が時として、マナーの基本からそれしまうこともあるようです。主たる職員が注意を促す場合もあるようですので、利用者の接遇への意識について継続して教育していくことが、期待されます。